

令和5年度就職氷河期世代就労支援事業運営業務委託に対する質問への回答

【質問1】 昨年度の面談実施実績をご教示ください。

【回答】 面接件数 18 件、参加者 16 名（うち保護者 5 名）。

【質問2】 上記面談実施数のうち、年代別の人数、男女別の人数についてご教示ください。

【回答】 30代 4名（男3名、女1名）、40代 11名（男8名女3名）、50代 3名（女3名）。保護者参加の場合は対象者の年代性別としました。

【質問3】 上記、面談実施人数のうち、就職決定者数をご教示ください。

【回答】 令和4年度事業は KPI に就職決定者数を設定していなかったため、把握していません。

【質問4】 上記、面談実施人数のうち、（何らかの）社会参加した人数をご教示ください。

【回答】 13名。

【質問5】 提出資料について、「提案書の開示に係る意向申出書」がございますが、HPに掲載の「結果通知書」の提出を行う形で問題ないでしょうか。

【回答】 公募要領「7 提案書の提出」に記載の提出書類及び部数に記載の「提案書の開示に係る意向申出書」は誤りですので、提出不要となります。公募要領を修正いたしました。

【質問6】 4. 対象者のうち「（1）以外の無業者、転職希望者等も参加を認めても構わない」とありますが、「（1）以外の無業者、転職希望者等も「8. 重要業績評価指標（KPI）」に加えても良いでしょうか。

【回答】 本事業は内閣府の地域就職氷河期世代支援加速化交付金の補助事業となります。交付要綱上、相談会の定員の余裕がある場合に就職氷河期世代以外の参加を認めることは可能ですが、KPI には就職氷河期世代以外の結果は加えられないとされています。

【質問7】 4. 対象者のうち「生活困窮者等、就労支援とは別の支援が必要と推測される対象者が認められた場合は、市に報告すること。」とありますが、リファーマー先はありませんでしょうか。

【回答】 市の福祉部門や社会福祉協議会などが想定されますが、リファーマー前に産業振興推進課へご報告をお願いいたします。

【質問 8】 8. 重要業績評価指標（KPI）の（2）本事業を利用し何らかの社会参加を行った人数（他機関への繋ぎ等を含む）の「社会参加」の具体例を教えてください。

【回答】 職業能力開発センター等が主催する職業訓練の利用、ハローワーク等が主催する就労支援セミナーなどの利用、地域若者サポートステーションの利用などを想定しています。